

平成 30 年度 第 2 回 篠ノ井高等学校 学校評議員会議事録

平成 31 年 2 月 7 日(木) 14:45~17:00 実施

- 1 授業参観 (2年英語表現 電子黒板を利用した授業)
- 2 校長挨拶
- 3 本年度活動報告
 - ・全日制教頭より
 - ・進路指導より
 - ・生徒指導より
 - ・各学年より
 - ・定時制より
- 4 学校評議員からの提言・意見交換
 - ・授業見学：英語表現 2 年
子供たちがいきいきと、意欲的に取り組んでいる姿が見られた。素晴らしい
教師主導ではなく協働的な授業、こういったものを大切にしないといけない時代
 - ・積極的に先導的に取り組んでいてとても良い。電子黒板、生徒達が楽しく取り組んでいた。
 - ・マレーシア派遣を含め、新しいことをいろいろやっているなあ という印象。ASEAN 諸
国との連携を含め、国際交流に重きを置いた活動を特徴として今後もやっていくのか。
 - ・国公立大学 7 科目受験者がかなり減っている。負担が大きいか。ぜひ国立への受験も
頑張ってもらってほしい。
 - ・特進クラスの取り組みについての評価が例年低いとのこと。アピールをしていくこと
も大切ではあるが、僕たちとは関係ない と思っている他クラス生徒保護者からすれ
ば評価はしづらいところ。評価項目自体を無くす など検討してはいかがか。
 - ・教師側の立場として・・・
プロジェクトの取り組みは素晴らしいが、受けての先生方には辛くないか。限られた
時間の中、いろいろ対応していかななくてはならない。教員は今後どう対応していくか。
IC 機器も使えるようになった人はどんどん忙しくなっていく。長続きしていかないと。
生徒の立場として・・・
上の子はいいが、組織全体についてこれない生徒への対応を考えなくては。そのあた
りの難しさ。ふつうの生徒達は今後どうなっていくのか。
こういったことを、中長期的に考えていかれると良い。成果は求めなくてもいいので
はないかとも考える。もっとその先の長い人生に、生きてくるような活動をしている
と考えていいのではないか。
 - ・探究学習の成果として、これから、「手をあげる生徒」が増えていくか。
敬老会などの地域行事への参加 (ギターマンドリン部) 非常に良かった。
 - ・同窓会企画行事の感想、こんなに色々感じているんだ と感動。こういった活
動を同窓会としても中学生にも PR していかれると良い。
 - ・PTA 活動も広報していきたい。
 - ・授業の主役が先生→生徒へとってきている。子供が中心になっていく社会、自分た
ちがこの国を動かしていくんだ ということを篠ノ井高校で学んでほしいと願う。